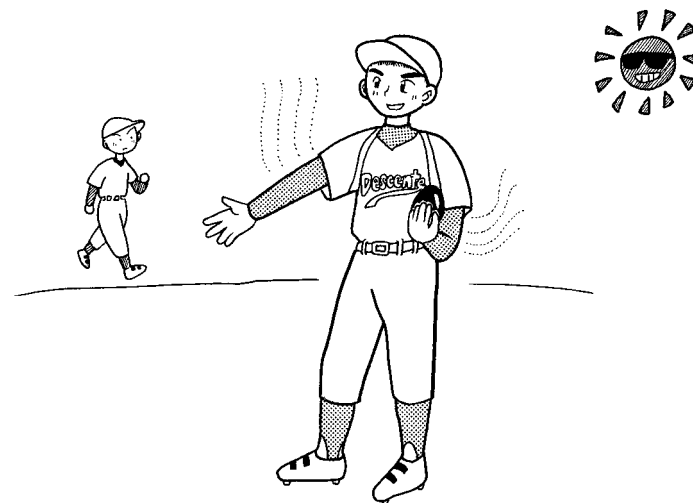


素材の吸湿性・吸水性の有無がタイトフィットスポーツウェア着用時における運動時の衣服内気候に及ぼす影響

研究代表者 神戸大学 井上 真理

野球やアメリカンフットボールなどのスポーツのユニフォームのインナーウェアとして、体にぴったりしたタイトフィットのウェアが多く着用されています。このウェアの特徴のひとつが、速乾性素材を用いて多量の汗を素早く処理することです。

この研究では、ウェア素材の速乾性の有無が運動中の生体反応に及ぼす影響を検討しています。運動中、心拍数、平均血圧、および、自覚的運動強度には素材の速乾性の有無は影響しませんでした。しかし、速乾性素材を用いたウェアでの運動中の舌下温、および、局所皮膚温のうち胸部、背部、大腿部には素材による顕著な差は認められませんでした。平均皮膚温、および、局所皮膚温のうち下腿部、上腕部、前腕部では、速乾性素材のウェア着用時に低くなりました。また、速乾性素材ウェアとTシャツ間の衣服内湿度は高く、湿潤感は低くなっていて、被験者は運動中高い快適感を得ています。この快適感、衣服内気候、および、皮膚温の測定結果が示唆しています。



速乾性素材を用いたインナーウェアは、下腿部・上腕部・前腕部で皮膚温が低く、快適感がある。

